



2021-2022 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：野尻 勝規 ● 副会長：元木 誠二 ● 幹事：鈴木 市郎
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00~13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス Sharir Rotary@peach.plala.or.jp

第 2851 回例会 2022 年 2 月 9 日(水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：野尻 勝規 会長

司会：浦田 順子 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ~野尻会長

・斜里町議会議員 久保 耕一郎氏

2. ローターソング ~四つのテスト(唱和なし)

3. 会長の時間 ~野尻会長

・皆さん、こんにちは。今週もコロナ感染対策として ZOOM での参加もできる体制で例会を行いますのでよろしくお願いいたします。

2月のロータリー特別月間は「平和と紛争予防月間」ということで、今週も戦争にまつわるお話をさせていただきます。

戦争と言いましても、大河ドラマの話でして「青天を衝け」。皆さんもご存知の渋沢栄一の生涯をドラマにしておりまして、最終回は非常に感動的でした。

渋沢栄一に関しては、「日本資本主義の父」とか「近代日本経済の父」と呼ばれ経済界に様々な功績を残された方ですので改めて言うまでもないのですが、「社会福祉事業」にも尽力されておりまして、東京養育院の運営などで貧困者や孤児などを救済する活動も行っていたそうです。更に晩年には経済界を引退し、民間外交にも尽力されておりまして、アメリカや中国を訪れて国際親善に力を注いだそうであります。

そんな昭和6年(1931年 渋沢 91 才)に中国で大規模な水害が発生します。その規模は凡そ日本本土の面積と同じくらいの広い範囲での水害で、一千万人を超える罹災者を出したともいわれております。

日本はその8年前に「関東大震災(1923年)」で被災しています。その時にはアメリカや中国から多大な支援金を受けた恩義があります。渋沢は「かかる隣国の厄災に対して同情を表し慰問することは、人情や人道の上で当然の事」とするのですが、91歳のご高齢ですから現地に駆けつけることもできないということで、自身の住む飛鳥山邸にラジオ機材を持ち込んで、直接国民に中国への支援を呼びかけます。

そのスピーチが非常に日本国民の心に響きまして、企業からの大口寄付はもちろん、貧しい家庭の主婦からの心ばかりの寄付まで多くの義援金が集まったそうであります。

しかしながらその年の9月に、日本の関東軍は満州事変を引き起こします。中国北東部を占領しまして日中の対立は決定的となります。結果せつかく集まった義援金も中国側から受け取りを拒否されてしまいます。その2か月後に渋沢栄一は逝去する訳ですが、渋沢は常にこう言っていたそうであります。

「国家間の経済協調は決して一国の利益のみを主張することではない。他国の利益を顧みないということは、正しい道徳ではない。」

つまり、共存共栄でなくては国際的に国を為していく事はできない、というものでした。

渋沢の死後翌年、日本は国際連盟を脱退します。次第に日本は国際的な孤立を深め、その後日中戦争に突入します。世界は刻一刻と第二次世界大戦へと近づいていき、渋沢が心血を注いだ民間外交による友好関係もむなしく、日本はいわゆる終戦の日へと至る訳であります。

渋沢が望んだ他国との共存共栄の道と、当時軍事力に舵を切った日本政府の歩む道は異なるものでしたが、大河ドラマを通して渋沢栄一が生きた時代というものを学んだような気がいたします。

埼玉県深谷市に「渋沢栄一記念館」がありまして、当時の映像や実際のスピーチも聞けるそうです。

皆さんも一度訪れてみては如何でしょうか？



4. 幹事報告 ～森田副幹事

- ・2月2日に理事会を開催。3月、4月のプログラムについては後日メールでお知らせします。
- ・3月の家庭集会は中止といたします。
- ・ロータリー手帳購入申込書、ロータリー関連物品カタログが届いています。回覧しますので購入希望者は副幹事森田までお願いします。

5. 委員会、その他の報告 ～野尻会長

- ・中田会員～北海道横断自動車道網走線女満別空港から網走間に抜ける道路計画に関するアンケートのお願いという案内が皆さんのご自宅あるいは職場に届いていると思います。この道路がいつか斜里町までつながるようにと声を出していきたいと思っております。是非アンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

6. 本日のプログラム ～野尻会長

◆ゲスト卓話

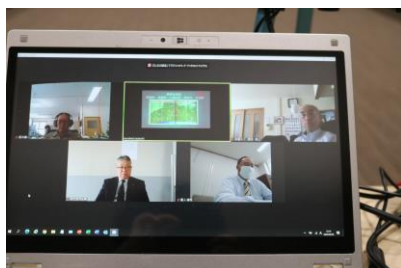
- 武藤出席・プログラム委員長～今日のゲスト久保さんには「水」に関してのお話をさせていただきます。

来月が「水と衛生月間」なのですが、少し早いですが「水」に関して斜里町の農業が町にどのような役割を果たしているのかお聞きしたいと思います。

- 久保 耕一郎氏

水は農業にとっては大事な要素なのですが、特にこの地域は干ばつ地帯が山側にあり、そして海側には湿地ということで非常に真逆の土地条件なんですね、これを先輩たちは何とか土地改良したいということで長年にわたって国に要望していました。その中で一番大きなのが「国営事業」であります。

(この後、スライドを使っの解説がありました)



<前号からのつづき>

高木地区職業奉仕委員長 「職業奉仕月間」に因んで

9) 職業奉仕～1

ポール・ハリスは、職業奉仕とは、「ロータリアン各自がその事業及び専門職務において、最高の道徳規範を保持する」ことを定義づけました。

10) 職業奉仕～2

ビチャイ・ラタクル氏は、職業奉仕とは、

第1、自分の職務を遂行するに当たって、奉仕の理想を実証すること。

第2、事業及び専門職務に携わるロータリアン以外の人々に奉仕の理想を分かち広めること。

「職業奉仕は、誠実のうえにたつて、信頼を得、職業の規範向上を追求していくロータリー哲学の神髄であり、もし、間違ったタイプの人をロータリーに入会させれば、職業奉仕活動に多大な影響を与えることになるのです。」とされています。

ロータリークラブの会員全員が、仲間であり、友人であり、家族同様なのです。と言っても、困った時に「お金を貸して」ということとは違います。奉仕の理想の絆で手を携えて、人生哲学を邁進する仲間なのです。

11) 四つのテスト

ハーバート・J・テラー

多額の負債により倒産寸前の1930年、アルミニウム製品会社の再建を引き受け、どうしたものかと悩み、旧約聖書に出てくる偉大な予言者の一人「エレミア」の教えの中に出てくる、「主はこう言われる、知恵ある人はその知恵を誇ってはならない、力ある人はその力を誇ってはならない、富める者はその富を誇ってはならない、誇れる者はこれを誇りとせよ」この言葉から「四つのテスト」は導き出された。

- 1, 真実かどうか
- 1, みんなに公平か
- 1, 好意と友情を深めるか
- 1, みんなのためになるかどうか

この「四つのテスト」を、自分たちが考えたり、言ったり、行動する際の指針にした。「四つのテスト」の背後には、自分がよしとするは、真実、公平(正義)、隣人愛といった永遠の宝が隠されている。「四つのテスト」を考案し、実践することにより、5年間で40万ドルの借金を返済。

この「四つのテスト」は、ロータリアンとしての基本であり、人生哲学であります。

7. ニコニコ BOX ~吉岡親睦副委員長

・河面会員～本人誕生、奥様誕生、結婚記念祝

8. 出席報告 ~武藤出席・プログラム委員長

◎本日出席～32名中リモート4名、会場22名出席(出席率:68.7%)

☆ 幹事より次回例会の案内

・次回は2/16(水)第2852回例会(産業会館2Fリモート併用)～「出席率向上について」のアンケート集計報告(担当:クラブ管理・運営委員会)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

斜里 RC 会長のテーマ

ロータリーを知り、その魅力を伝え、
奉仕の輪を広げよう